

NEW 復動式エヤーニッパ(角型) <WS3・5・10・20・30>

本機種は、本体内のリターンズpring（ピストン部・替刃部）がないので、spring交換の必要がありません。

御使用に際して、この取扱説明を必ずお読み下さい。

また、必要な時取り出して読めるよう大切に保管して下さい。

安全かつ正しくお使いいただくために、下記の事は遵守して下さい。



注意



- 1) 作業中に替刃に触れたり、替刃周辺に手指等を近づけないでください。
- 2) やむなく替刃に触れる場合は、安全のため必ずエヤー源をストップしてから行なってください。



- 3) 作業をしない時は、必ずエヤー源をストップしておいてください。
- 4) 切断作業時、切断物の切りクズが飛んで目に入る恐れがありますので安全メガネを使用してください。
- 5) 能力以上（使用目的以外）での作業は行わないでください。

■替刃交換方法（図1参照）



安全のため必ずエヤー源をストップしてから行なって下さい。

- 1) 替刃が開いた状態でエヤーをストップしてください。
- 2) Rピンを抜いてください。
- 3) セットピンを矢印方向から押し抜いてください。
- 4) 替刃を矢印方向に抜いてください。
- 5) 取付は替刃を開かせた状態で本体にはめ込みセットピンを差し込んでRピンを止めてください。

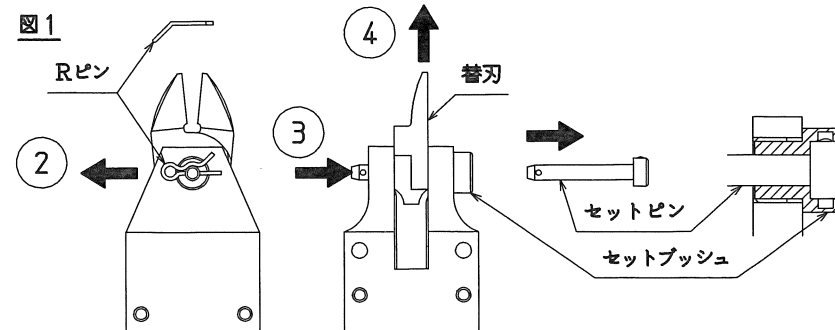
注意：セットピンを差し込む場合、セットピンの頭がセットブッシュの穴に完全に入り込むまで押し込んでください。

セットピンはボール及びリングでホールドしており通常Rピンなしでもご使用出来ますが、セットピンにショックや抜く力が加わる恐れのある場合は必ずRピンをご使用ください。

（Rピンは抜き取りやすい形状に加工してあります。）

- 6) 替刃を取付後、エヤーを通し2～3回作動させてください。

図1



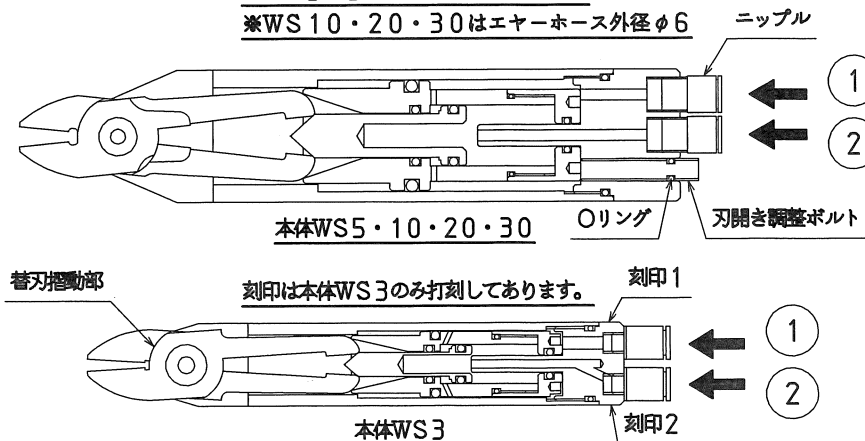
お願い

- 御使用方法
- 1) 必ずフィルターを通した水分を含んでいないエヤーを使用してください。
 - 2) 充分なエヤーが供給できるように、エヤー源のバルブは全開にしてください。
 - 3) 作業前に替刃の摺動部に注油してください。
 - 4) 使用空気圧は下記の範囲内で使用してください。
(指定空気圧以上での使用における故障の責任は負いません)

使用空気圧	適用 本体
0.4～0.5MPa	WS3・5・10
0.5～0.6MPa	WS20・30

■本体エヤー供給方法

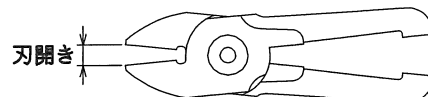
四方口電磁弁か四方口フットバルブで作動させてください。
当社製品、四方口フットバルブFV80が御利用いただけます。
ニッパ①・②にエヤーホースを接続して下さい。
ニッパ①は替刃が開く・ニッパ②は替刃が閉く
ニッパは機種により接続エヤーホースの外径が変わります。
※WS3・5はエヤーホース外径φ4
※WS10・20・30はエヤーホース外径φ6



■刃開き調整方法（本体WS3には調整ボルトはありません）

- 1) 替刃が閉じた状態でエアーをストップしてください。
- 2) 調整ボルトを右方向に回し締めてください。
- 3) 調整ボルトを締めすぎると、Oリングが破損しますので注意してください。
- 4) ある程度調整ボルトを締めた時点でエアーを通し2～3回作動させ刃開きを確認してください。
- 5) 刃開きの調整は下記の範囲内で行なってください。

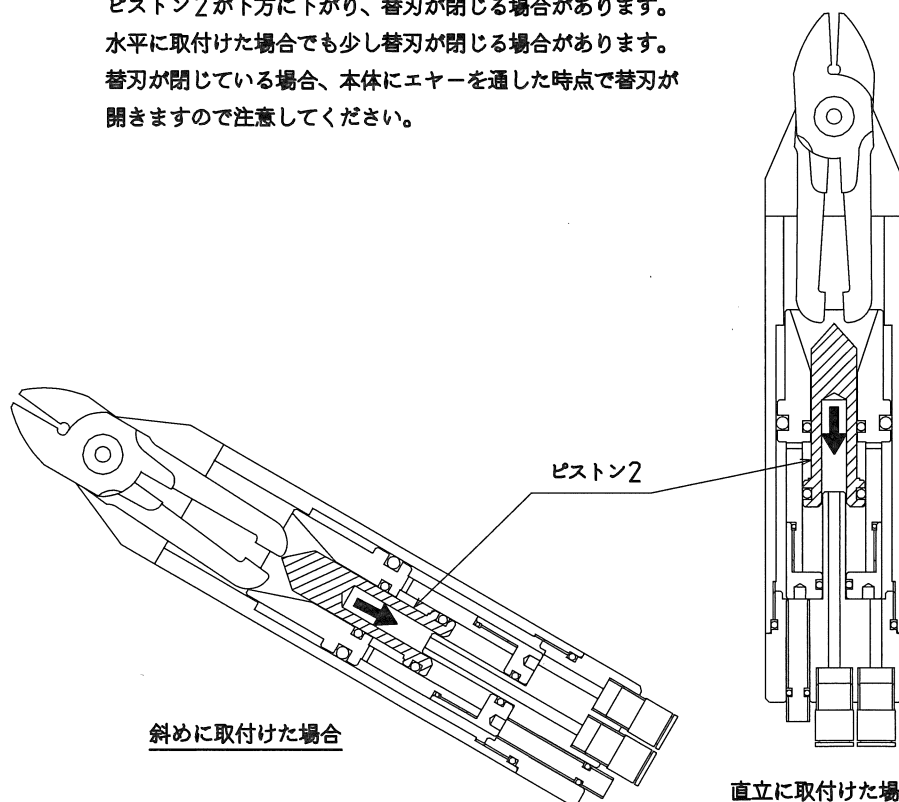
本 体	刃開き調整範囲（標準刃）
WS5	約1mm～3.5mm
WS10	約1mm～5.5mm
WS20	約4mm～8.5mm
WS30	約6mm～15mm



■本体の取付についての注意



本体を直立及び斜めで取付けた場合
作業を終了しエアー源をストップした時（本体内からエアーが抜けた・抜いた場合）
ピストン2が下方に下がり、替刃が閉じる場合があります。
水平に取付けた場合でも少し替刃が閉じる場合があります。
替刃が閉じている場合、本体にエアーを通した時点で替刃が
開きますので注意してください。



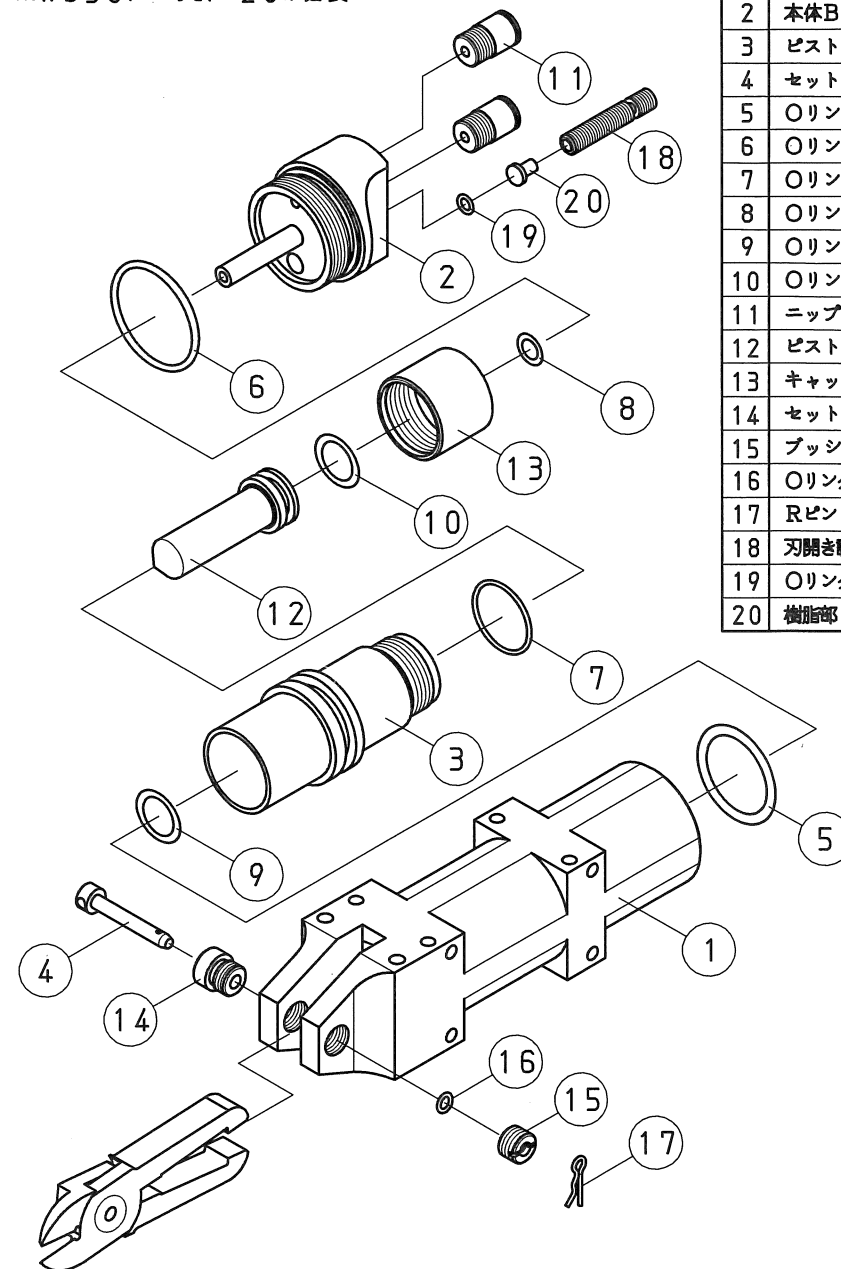
斜めに取付けた場合

直立に取付けた場合

■部品図

※WS3にはN○18・N○19・N○20不要

※WS30にのみN○20が必要



品番	部 品 名
1	本体A
2	本体B
3	ピストン1
4	セットピン
5	Oリング
6	Oリング
7	Oリング
8	Oリング
9	Oリング
10	Oリング
11	ニップル
12	ピストン2
13	キャップ
14	セットプッシュ
15	プッシュ
16	Oリング
17	Rピン
18	刃開き調整ボルト
19	Oリング
20	樹脂部